

8月29日議題：施設入所・入院から地域生活への移行について

峰 裕美

以下につきましてご質問等させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

- ① 地域生活に移行してからのフォローは、基本的に区市町村任せなのでしょうか？
障害者が充実した地域生活を送るには、障害というものへの地域住民の理解が不可欠であることはいうまでもありません。しかし、その理解を得るための働きかけが不十分であるような気がいたします。区市町村が行うにしても、そこに東京都のバックアップ体制があれば、より内容の深い働きかけが実現するのではないかと思います。

例えば、

東京都が、障害理解のためのモデル事業地域を設け、講演会・勉強会・ワークショップなどを行う。その地域での障害理解度をデータとして出し、あわせて障害者地域生活移行の定着度なども示す。このようなことは実現できませんか？

- ② 障害への理解だけでなく、「グループホームやケアホームが何であるか」ということを理解していない人も多いと感じます。①と同じように、その認知度UPのための都のフォロー体制はどのようになっているのでしょうか？
- ③ ○○区の障害者福祉センターの方とお話をする機会がありました。「ホームヘルプサービスをどのように利用したらいいのか分からない」という相談が多いとのことでした。このようなちょっとした相談ができるような地域窓口を増やすとか、増やせないならば、その窓口はどこなのかが、すぐに分かるように告知されたうえで設置されていればいいと感じます。もしくは、出張相談窓口の仕組みを分かりやすくシステム化するなど、どこに住んでいても気軽に相談が受けられる体制づくりをお願いいたします。それは地域移行後の障害者にとっても有効であると思われます。
- ④ また、上記のセンタースタッフとの話で、今後は外国人障害者の問題も多くなるだろうということを言われました。今回の議題とはズレてしまうのですが、今後増加するであろう外国人障害者の問題について、どのようにお考えになっているか知りたいと思いました。

以上、論点から外れていましたら申し訳ございません。

どうぞよろしくお願いいたします。